

220404 千葉県北西部M4.7、M3.9 と五反田、練馬のデータについて

(五反田のデータと福島県沖 M7.3 および関東の地震について その 3)



関東でM4 クラスなどの中規模な地震が続いていて、五反田のデータとの関連をお知らせに載せています。ところが昨日 4 月 4 日に、お知らせに関東の地震と五反田のデータの関連その 2 をアップした後、夕方になって五反田と練馬のデータを見たら、どちらも、さらにきれいな収束になっていました。>①、②参照

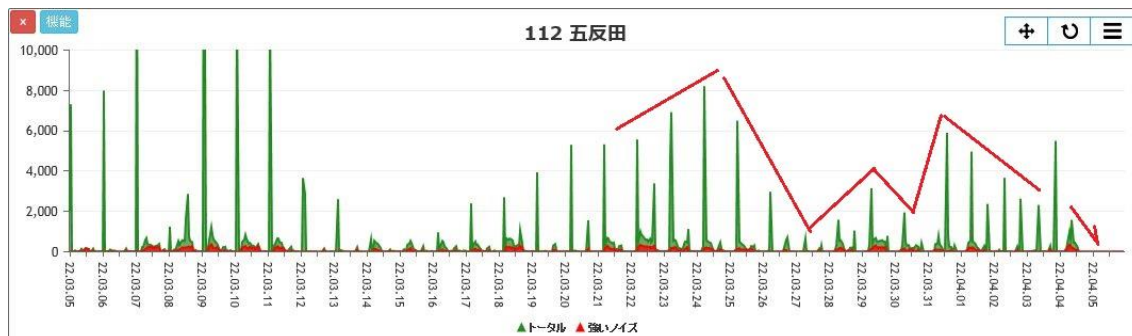
これは、関東直下の中規模地震がもう 1 つ来るのか?と置いていたところ、昨夜 4 月 4 日の午後 10 時 30 分ごろに千葉県北西部M4.7 がきて、さらに 1 分後に同じ震源でM3.9 が発生し、東京も揺れました。

五反田のデータは昨年 (2021 年) 11 月ごろから上昇し、12 月と 2 月ごろにピークを作ってから減衰していき、きれいな山の形になっています。>③五反田 180 日間データ

そして、最初の収束のタイミングで 3 月 16 日福島県沖M7.3 が発生し、その後、小さい山の収束のタイミングで 3 月 31 日千葉県沖M4.7、4 月 4 日同じく千葉県沖M4.7、M3.9 が発生しています。>④五反田 180 日間データ (拡大)

なるほど、あの、①、②のデータの収束の形からは、M4 クラスが発生するのだ、ということがわかりました。五反田 30 日間 >⑤、15 日間データ >⑥、および練馬の同データ >⑦、⑧から見ると、データの減衰—収束のタイミングと地震発生がほぼ符合していることがわかります。以下参考まで。

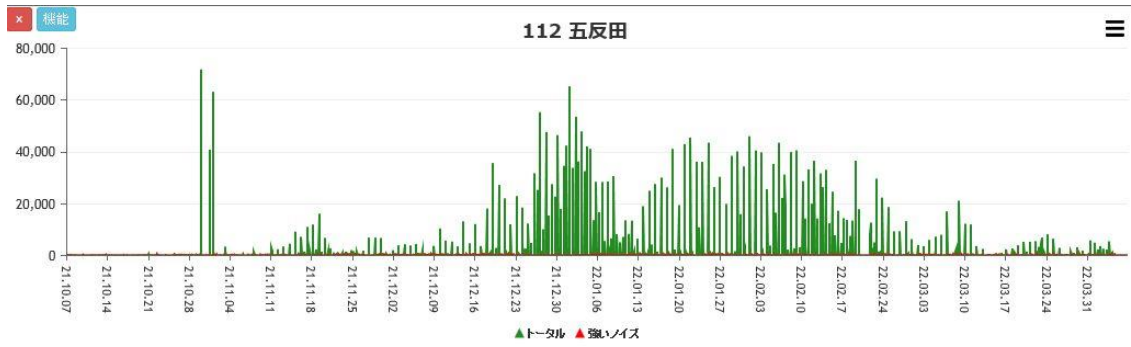
① 4 月 4 日までの五反田 30 日間データ >きれいな収束になっている。



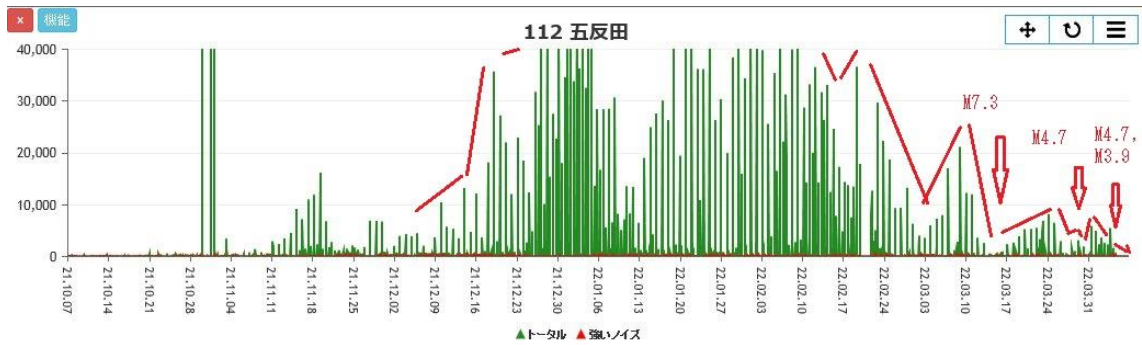
② 4 月 4 日までの練馬 30 日間データ >急な収束になってきている。



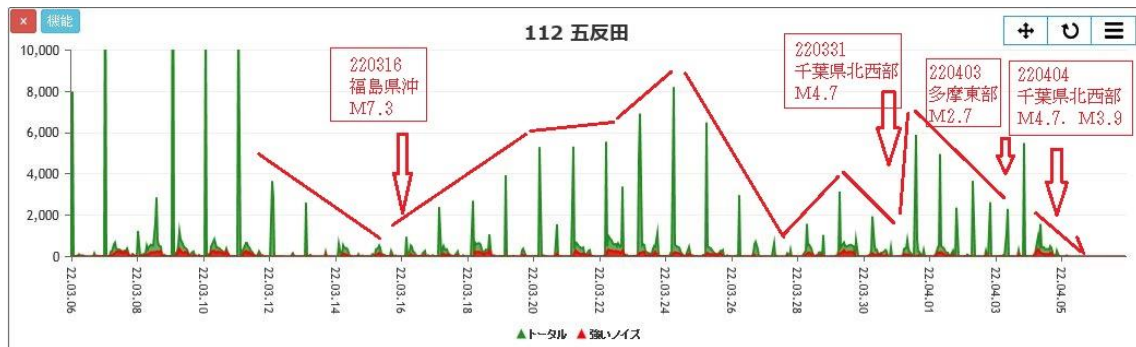
③ 五反田 180日間データ > 2021年11月ごろから上昇し、きれいな山の形になっている。



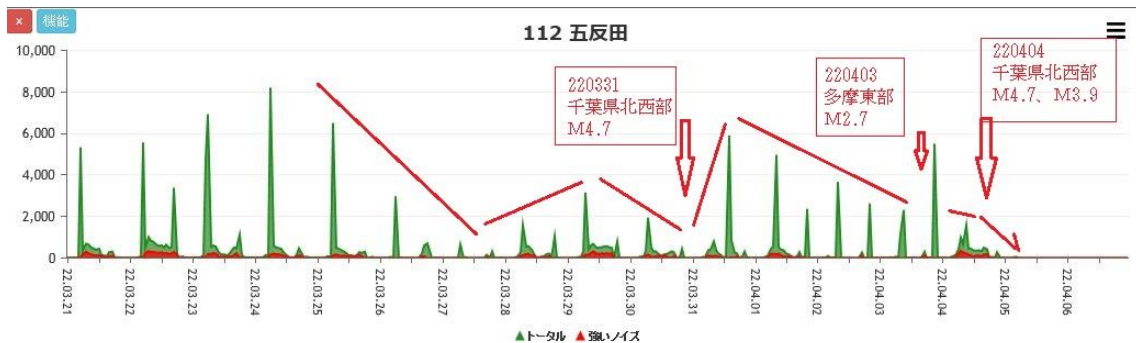
④ 五反田 180日間データ (拡大) > 減衰、収束傾向になって地震が発生している。



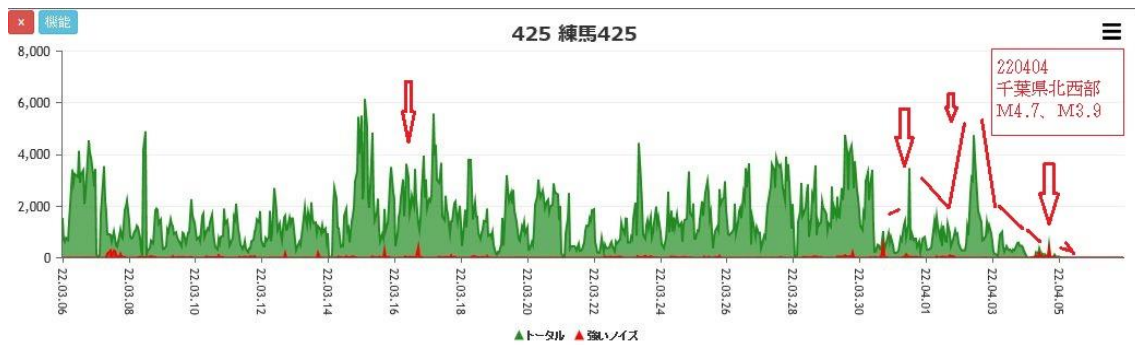
⑤ 五反田 30日間データ > データの減衰—収束のタイミングと地震発生が符合。



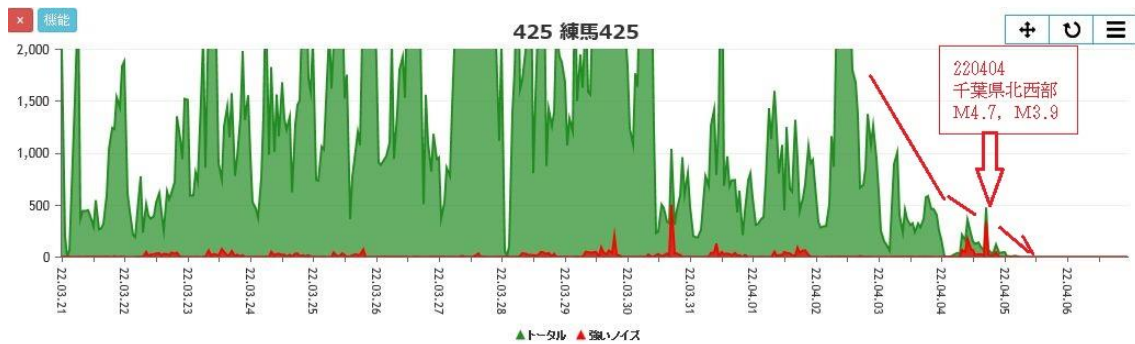
⑥ 五反田 15日間データ



⑦ 練馬 30 日間データ＞データの減衰—収束のタイミングと地震発生が符合。



⑧ 練馬 15 日間データ (拡大)



地震発生 1 > 220404 千葉県北西部M4.7 (22時30分)



発生時刻	2022年4月4日 22時30分ごろ
震源地	千葉県北西部
最大震度	3
マグニチュード	4.7
深さ	60km

地震発生 2 >220404 千葉県北西部M3.9 (22時31分—約1分後)



発生時刻	2022年4月4日 22時31分ごろ
震源地	千葉県北西部
最大震度	2
マグニチュード	3.9
深さ	70km